



魅力・希望 ずっと 住みたいまちを目指す

— 新たな総合計画の策定状況 —

平成27年度を始まりとする「第2次総合計画」については、25年度に多様な形で市民を交えた議論をしてきました。その議論の結果を基に9月議会での議決を目指し、計画案の策定作業を進めています。

問い合わせ 企画課 本間 ☎230040

今回の総合計画は、多くの市民の意見を反映するとともに、民間と行政の役割分担などを盛り込み、協働、連携して取り組むものとなります。また、計画期間内に特に力を入れて推進する重点的な分野の取り組みの位置付けを行い、目標に向かって着実に前進する高い実効性のある計画を目指します。

基本構想、基本計画、実施計画の3層構造とし、期間は市長の任期に合わせて、基本構想は8年間、基本計画と実施計画は各4年間とします。

重点的な位置付けに含める分野の検討

重点的な位置付けに含める分野については、昨年7月から9月に173団体から513人が参加した市内団体との意見交換会により意見を集約しました。

それを基に、昨年の12月から本年5月にかけて、市内団体の代表者や有識者で構成する「NEXTまきのはら」で具体的な分野の選定と考え方を整理しました。

その結果、計画期間の重点的な位置付けに含める分野と考え方を次にまとめました。

期間内に特に力を入れる3つの柱

○活力を高め、若者が魅力を感ずる住環境などをつくる
優れた特産品や空港などの資源を生かした地域活力の向上によって、若者が魅力を感じる「住みたい、働きたい、希望が持てる」まちづくりを進めます。将来を担う大学生、高校生の意見には、この分野への期待や関心が強く表れていました。

○共に支え、安心して想いが実現できる地域社会をつくる
個人が能力を発揮したうえで自立し、支え合う社会の充実により、誰もが「想いが実現でき、生きがいを感じ、住み続けたい」と思うまちづくりに力を入れます。

○経営を見直し、推進力を高める体制を整える
2つの柱を、進めるための基盤として協働の推進や人材の育成、資産の適正化などに取り組みます。

このような考え方を基に、予算や人材を集中投入して推進する具体的な取り組みとして、次の5つの重点プロジェクトを検討しています。

検討されている

重点プロジェクト(案)

NEXTまきのはらをはじめとするさまざまな意見を基に、現在検討中の重点プロジェクトです。今後、総合計画審議会の審議を経てまとめていく予定です。

快適な 高台開発



東名高速道路相良牧之原ICや富士山静岡空港(新幹線新駅予定地)周辺を複合的な用途で開発し、新幹線新駅の設置促進や住宅地、事業用地、商業施設、工業用地などを整備します。

宝 子ども育成



結婚、妊娠、出産、育児の切れ目ない支援、地域で子育てを支える仕組みづくり、子育て情報の発信などに取り組み、子育て世代が住みたいと思えるまちをつくりまします。

公共施設 最適化



全ての施設のデータを一元化した公共施設白書を作成し、財政見直しなどと連動したデータの可視化を行ったうえで、市民の意見を反映した基本方針を策定し、施設の見直しを行います。

生き活きと健康で活躍



子どもから高齢者まで全ての人が、地域の課題解決に貢献できる活躍の場や交流の場があり、生きがいを持ち、健康で想いが実現できる地域社会をつくりまします。

魅力ある 産業雇用



地域の企業、事業者のレベルアップを支援する体制を充実し、魅力ある職場となる産業を育てるとともに、働きやすい労働環境を企業と連携してつくっていきます。

子育て支援の充実を
メンバーには女性が多く、共感できる意見がたくさんありました。共働きをしている女性としては、もっと子育て支援が充実すると働きやすくて住みやすいまちになると思います。雰囲気も明るく、毎回楽しく議論できました。



NEXTまきのはら
榎 美和 さん

牧之原市の未来に期待
いろいろな分野の人が討論することで、専門分野では見えないことが見えてきました。市の未来をみんなと考えていくことにウキウキ・ワクワクしながら参加しました。
これからの牧之原市の未来に期待したいです。



NEXTまきのはら
高須賀 直子 さん

